

令和5年度 都城市立中郷中学校 学校評価アンケート

4:当てはまる、3:どちらかという当てはまる、2:あまり当てはまらない、1:当てはまらない

評価項目	めざす生徒像	取組	アンケート結果	自己評価 指標別 総合	成果と課題 (成果○、課題等●)	4段階 評価	学校運営協議会より (成果○、課題等●)
学校生活全般	充実した学校生活を送っている。		生徒 3.8 (94.0%) 保護者 3.3 (83.7%) 職員 3.6 (90.9%)	3.6			
【学校の教育目標】夢の実現に向けて常に学び続ける生徒	すぐれた知性(向学)	基礎学力の定着	基礎・基本の学習内容を理解している。	○テスト結果の分析及び対策 ○各教科での小テスト、単元テストの充実 ○ICTの有効的な活用の研修と推進	生徒 3.2 (79.0%) 保護者 2.8 (69.6%) 職員 2.9 (72.7%)	3.0	○テスト分析及び対策を通して、基礎・基本の学習内容の定着が見られた。 ○ICT活用の研修や情報共有で活用の幅が広がった。 ○キュービナを通して、家庭学習が取り組みやすくなった。 ○委員会で学習徹底週間を実施し、啓発に取り組んだ。 ●習熟度の低い生徒への対応が課題である。個別最適な学びの在り方について共通理解し、支援していく。 ●教師の授業での活用に偏りが見られた。また、生徒の学習用タブレットの使用方法について課題があった。 ●学習徹底週間以外の学習習慣の定着が不十分である。生徒の自主性をより高めていく取組が大切である。
		ICT機器の活用	ICT機器(タブレットPCやGoogle、キュービナなど)を有効活用している。	○学習用端末を活用した家庭学習の充実 ○キュービナ活用の推進 ○「学習態度徹底週間」の充実	生徒 3.5 (87.1%) 保護者 3.0 (76.0%) 職員 3.5 (86.4%)	3.3	
		学習習慣の確立	1分前黙想、あいさつ・返事、提出物厳守などの学習習慣を身に付けている。		生徒 3.5 (87.0%) 保護者 3.0 (76.2%) 職員 2.9 (72.7%)	3.1	
心豊かで思いやりのある生徒	豊かな心(徳育)	道徳教育・人権教育の充実	自他を大切に、思いやりのある言動をとっている。「SOSの出し方に関する教育推進校指定」	○「SOSの出し方に関する教育」推進校の取組 ○人権教育、道徳科授業の充実 ○教育相談の充実 ○スクール・カウンセラーの活用	生徒 3.6 (90.9%) 保護者 3.5 (86.9%) 職員 3.3 (81.8%)	3.5	○人権教育について研修や研究授業を行い、道徳の授業や教育相談など、生徒への支援につなぐことができた。 ○定期的な学校生活アンケートや教育相談を通して、生徒の悩みやトラブルの早期発見・対応することができた。 ○生徒総会において「R5中郷中生徒会宣言」を定めた。毎週月曜日の朝の会や生徒集会の場で唱和すること、"中郷のめざす生徒像"への意識づけを行った。 ●学年で実施する行事にバランスの隔たりがあり、活動内容の精選が必要である。 ●委員会活動のマンネリ化が見られ、活動内容の創意工夫が必要である。
		体験的な活動の充実	学校行事や体験的な活動に意欲的に取り組んでいる。	○月1回中郷中真心の日の設定 ○毎月学校生活アンケート実施 ○学校行事の精選、充実 ○キャリア教育計画に基づく体験活動の充実	生徒 3.7 (91.3%) 保護者 3.3 (81.9%) 職員 3.7 (93.2%)	3.6	
		生徒会活動の活性化	学級での活動や委員会活動に自主的に取り組んでいる。	○生徒会活動・専門委員会活動の活性化 ○週1回、中郷中生徒会宣言の作成と唱和	生徒 3.5 (88.0%) 保護者 3.2 (79.5%) 職員 3.4 (84.1%)	3.4	
健康で勤労を尊ぶ生徒	たくましい体(健康・勤労)	あいさつ、返事の励行	気持ちの良いあいさつや返事をしている。	○日常生活におけるあいさつ、返事の励行 ○小中学校朝のあいさつ運動の実施 ○耕心清掃の啓発と充実	生徒 3.5 (86.7%) 保護者 3.2 (79.2%) 職員 3.1 (77.3%)	3.2	○小中学校朝のあいさつ運動を通して、あいさつすることの大切さを意識することができた。 ○無言清掃で取り組む生徒や、チャイム前から清掃を行う生徒が増えた。 ○授業での補強運動など積極的に取り組んだ。また、部活動では、切磋琢磨しながら取り組んだ。 ●参加する生徒のみのあいさつ運動であったため、生徒全体があいさつする大切さを育む機会が必要である。 ●清掃時の服装や、無言清掃、時間のメリハリなどできていない生徒がいる。
		耕心清掃の充実	中郷中に誇りを持ち、耕心清掃(無言清掃)や整理整頓にきちんと取り組んでいる。	○体育の授業での補強運動の推進 ○表彰集会、部活動生集会の充実	生徒 3.6 (89.9%) 保護者 2.8 (69.3%) 職員 2.9 (72.7%)	3.1	
		体力の向上	体力向上をめざし、体育の授業や部活動などに意欲的に取り組んでいる。		生徒 3.7 (92.6%) 保護者 3.4 (84.7%) 職員 3.6 (90.9%)	3.6	
ふるさとと中郷を愛する生徒	ふるさと教育(敬愛)	ふるさと教育	地域の歴史や文化、産業等の学習を通して、地域への関心を深めている。	○学校行事における地域人材の積極的な活用 ○地域の行事への参画 ○地域と連携したボランティア活動の推進 ○学校ホームページの充実	生徒 3.3 (81.5%) 保護者 2.6 (64.9%) 職員 3.2 (79.5%)	3.0	○各学年の活動に積極的に取り組み、地域の文化や産業等に関心を高めた。 ○地域の多くの方との交流やボランティア活動への積極的な参加(159名)をおおして、地域社会の一員として自覚を高めることができた。 ○ホームページを積極的に更新することができた。 ●地域行事やボランティアの募集について、行事計画を作成、啓発することで、より充実した取組になると感じた。
		地域との連携	地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	○シグフイーの登録推進と内容充実	生徒 3.2 (79.0%) 保護者 2.7 (67.1%) 職員 3.2 (79.5%)	3.0	
							○成績が伸びているとのこと、全体的な底上げができたことは評価できる。授業態度は大変良いと感じた。 ○保護者の評価が高いことから、ICT活用による家庭学習の充実が確認できた。 ○学習用タブレットの使用方法が十分にできていることが、習熟の低い方のレベルアップが学力の向上に欠かせないことではないでしょうか。学力向上に必要なことです。 ○キュービナの利用頻度が高くなるほど正答率や偏差値の学力が高いとの研究結果を見たが、本校での様子はどうか。 ●基礎学力について、生徒の認識と客観的評価のずれの克服が必要。 ●教師の授業での活用に偏りが見られたとありますが、能力不足ですか、または、時間的余裕がないということですか。この問題を解決するための手段は。
							○学校の掲げた目標が、生徒・保護者に理解され、実行されていることが確認された。 ○生徒がお互いに遠慮なく悩み事を言い合える様な体験をすること。また、自分を大切に他人の立場を考えられる人になれたら素晴らしい生徒活動となり、心豊かな人になれると思います。 ○多様性を重んじる社会となり、人権教育はとても重要なものとなっている。 ○体験活動に将来の方向づけに大きな影響を与えるかもしれません。今後もぜひ多くの企業へのアプローチをいただければ幸いです。
							○中郷中の生徒は実によくあいさつしてくれました。 ○素直な生徒が多く、好奇心の多い年齢ですが、あいさつの励行は日々素晴らしいと感じています。 ○生徒会立候補演説で多くの候補者があいさつの重要性を説き、もっとあいさつの良い学校にしたいと述べていた。 ○中郷と言えば駅伝など強かったイメージがある。平坦で道路状況もよく、金御岳もあるので走るのに最適の地と思う。 ●積極性に欠けるところが見られ、もう少し意欲的に率先してやれると向上できるのでは。 ●「耕心清掃の充実」については、生徒の認識と客観的評価のずれの克服が必要。
							○地域活動に積極的に取り組んでいるように思う。 ○市の民俗芸能祭(12/3)藤田地区先踊り出演に生徒さんが参加していただき、素晴らしい発表ができました。地域との連携に積極的にボランティア活動として評価していただきたい。 ○地区文化祭では出品や募金ボランティアで協力いただいた。 ●保護者の評価が低いのは、「活動の状況を知らない」のか、「活動が足りない」と思っているのか分析し、その対応が必要。 ●中学校のコーナーなども検討いただければと思う。地域とのつながりを深められるコーナーなど設けられるとよい。

【学校の教育目標】夢の実現に向けて常に学び続ける生徒